



農・畜産・水産業の振興と農村の活性化

主担当部局：農林部



首都圏百貨店での奈良フェア



新たに野菜づくりにチャレンジする意欲ある若手農業者

目指す姿

農業・畜産業・水産業と農村が持つ資源を最大限に発揮させることにより、奈良らしい農・畜産・水産業の振興と農村の活性化を図ります。



●平成35年までに、農業産出額を

446億円

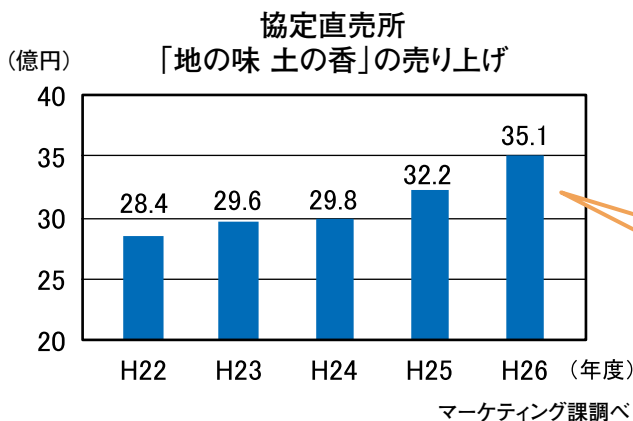
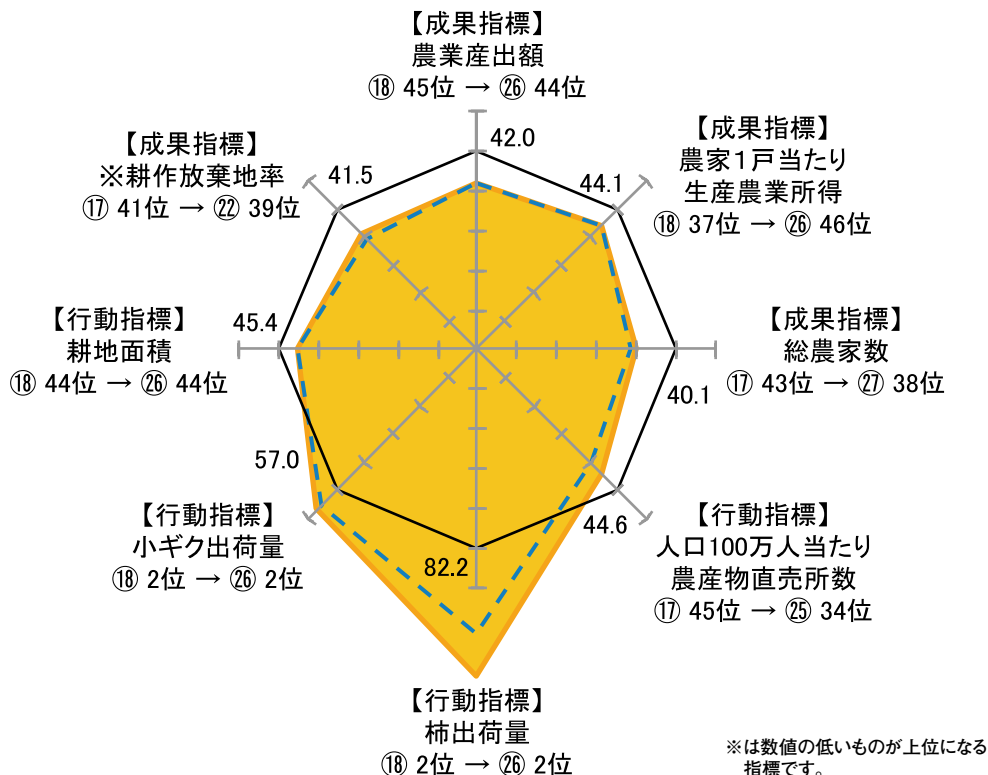
に増加させます。

(平成25年度：432億円)

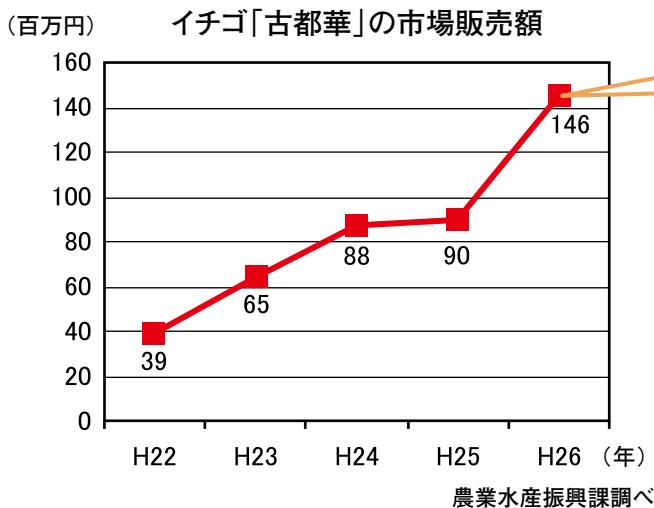
現 状

分析

■ 主な指標



専門家の派遣や広報などにより、毎年売り上げが増加しています。



生産者の増加などにより、イチゴ新品種「古都華」の販売額が増加しました。

戦略1

奈良の美味しい「食」の創造と発信に取り組みます。

主担当課：農林部 マーケティング課

戦略目標

- ▶平成31年度までに、首都圏での大和野菜を取り扱う仲卸業者を、19業者に増やします。(平成24年度：3業者)
- ▶平成27年度から平成29年度までに、県産農産物の地産地消レストランを、20店舗以上増やします。(平成27年度に基準制定)

取り組み

首都圏・海外等での販路拡大

6次産業化の推進・支援

地域ブランド力の向上と販売プロモーションの強化

奈良の美味しい「食」づくり

多様な流通経路の形成による販売促進



奈良フードフェスティバル

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
首都圏・海外等での販路拡大				
◎首都圏での食と観光PRフェアの開催	観光物産展の開催			
◎東京での県産食材レストランの開設	運営設計 検討	● 開設	運営	
◎首都圏における県産農産物評価向上支援	首都圏でのセールス、農産物の定期配送、評価向上支援			
◎首都圏での大和野菜等販路開拓	知事トップセールス、シェフへのPR			
◎食と農のプロモーション	多様なプロモーションの実施			
◎奈良の農産品海外販路開拓	情報収集・ 取り組み検討	● 海外展示会出展	販路開拓に向けた取り組み	
地域ブランド力の向上と販売プロモーションの強化				
◎奈良県産農産物を家庭で食べよう推進	PR実施			
◎JR奈良駅アンテナショップでの情報発信	アドバイザー派遣支援			
◎駅前広場等でのマルシェ開催によるにぎわいづくり	マルシェ開催・支援		マルシェ開催支援	
◎消費者への県産農産物のPR	PR実施			
奈良の美味しい「食」づくり				
◎奈良フードフェスティバルの開催	継続開催			
◎眺望のいいレストランの認定・支援	● 追加認定	支援		
◎学校給食における地産地消の促進	地産地消学校給食の促進と情報発信			
◎地産地消レストランの認定・支援	● 基準制定・認定	追加認定・情報発信		
多様な流通経路の形成による販売促進				
◎県中央卸売市場の活性化	将来ビジョンの策定		活性化に向けた基本計画の検討	
◎農産物直売所への支援	PR支援			
6次産業化の推進・支援				
◎県が主体となった縦型事業協同組合の育成	モデル実証			● 組合設立
◎6次産業化の取り組み支援	サポートセンター運営、新商品開発・販路開拓を支援			

戦略2

マーケティング・コスト戦略に基づき、県産農・畜・水産物の振興を図ります。

主担当課：農林部 農業水産振興課、畜産課

戦略目標

- ▶平成32年度までに、**チャレンジ品目**（大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り花花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ）の**生産額を20億円**に増やします。（平成25年度：18億円）
- ▶平成32年度までに、**リーディング品目**（柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚）の**生産額を136億円**に増やします。（平成25年度：126億円）

取り組み

チャレンジ品目の生産拡大・販路開拓（大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り花花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ）

リーディング品目の産地競争力強化（柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚）

水稻に代わる高収益性作物の導入・推進

品質によるブランド認証制度の創設と推進



有機野菜検討会



大和みな



切り花ダリアの産地



やまとの鮎



県育成品種「古都華」



かぶせ茶



大和肉鶏（肉）



大和なでしこ卵



加工用キャベツ

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
チャレンジ品目の生産拡大・販路開拓				
◎大和野菜の生産拡大	首都圏出荷に向けた増産モデル圃の設置	高品質・安定生産・生産拡大・首都圏出荷に向けた支援		
◎サクランボの増産とブランド化	増産、ブランド化へ向けた支援			
◎ダリア産地の活性化	切り花生産・需要拡大に向けた研究・普及、優良品質球根の生産安定			
◎切り枝花木の高品質安定生産	高品質・安定生産、出荷調整技術等開発・普及			
◎有機野菜等の振興	シンボルマーク認証の啓発 収量・品質向上のための展示・研修会			
◎イチジクの高品質果実安定生産の支援	高品質・安定生産、首都圏出荷に向けた支援			
◎「やまとの鮎」の生産拡大	「やまとの鮎」（生まれも育ちも奈良の鮎）育成・販売及びブランド化の推進			
◎アユ漁業の振興	健全な種苗の安定供給及び適期放流			

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
リーディング品目の産地競争力強化				
◎柿産地の競争力アップ	高品質果実生産の推進、新品種育成、新規加工品開発 首都圏でのPR、輸出拡大・定着支援			
◎キクの高品質安定生産とブランド力強化	高品質安定生産技術開発・普及、新品種育成 出荷期間拡大のためのハウス導入			
◎高品質安定生産の実現によるイチゴ産地の復興	新品種の育成、高品質・安定生産に向けた支援 新育苗技術の導入促進、検品方法の改善啓発			
◎味と香りの特徴を活かした大和茶産地の復興	高級かぶせ茶、てん茶の生産支援、海外販路開拓のための可能性検証 新茶種・新製品等の試作支援			
◎大和畜産ブランド力の強化	高品質・高付加価値化の研究 飼料自給率の向上に向けた調査・研究			
水稻に代わる高収益性作物の導入・推進	水田に適した高収益性作物の導入・推進			
品質によるブランド認証制度の創設と推進	制度の構築		制度の運用	

戦略3

意欲ある担い手の育成・確保と農地のマネジメントを推進します。

主担当課：農林部 担い手・農地マネジメント課

戦略目標

- ▶ 農業の新規就業者を毎年60名増やします。(平成18～25年度平均：33名)
- ▶ 農業法人を毎年10法人育成します(平成18年度：9法人/年)
- ▶ 平成35年度までに、担い手への農地集積率を34%に増やします。(平成25年度：12%)

取り組み

農業の新規就業者等への支援

農・畜・水産業経営に意欲ある担い手の育成・確保

多様な担い手の育成

農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援



耕作放棄地を再生し、研修農園として活用

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
農業の新規就業者等への支援				
◎実践研修及び就農後のフォローアップ	農家での実践研修、就農支援、農地の斡旋、経営指導			
◎農業就農意欲の喚起と就農後の定着支援	経営の安定しない就農前後の生活への支援			
◎なら食と農の魅力創造国際大学校 (NAFIC) での担い手の育成	試行、開校準備	●開校	「食」と「農」の担い手の育成	
農・畜・水産業経営に意欲ある担い手の育成・確保				
◎農業経営に対する支援	意欲ある担い手への農業技術、経営の複合化・多角化、法人化等支援			
◎地域の中心経営体への支援	人・農地プランの作成等支援			
◎高齢者等の人材を活用した労働力確保	農作業繁忙期における労働支援、耕作放棄地再生支援			
◎女性の農業への参入支援	起業活動支援、経営能力向上支援			
◎企業の農業への参入支援	企業参入支援、施設等整備支援			
◎水産業支援体制の検討	支援体制の検討		水産業の活性化に向けた取り組みの推進	
多様な担い手の育成				
◎障害者の農業就労の促進	障害者就労支援事業所への支援、農業への障害者雇用の推進			
◎高齢者等の農業参入に対する支援	耕作放棄地再生、農業技術の研修、農地斡旋			
農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援				
◎農地マネジメントの検討実施	農業振興ゾーン設定による農地の活用方法の検討			
◎担い手への農地の集積	農地中間管理事業を活用した担い手農家への農地マッチングの支援			
◎農地の有効活用への支援	耕作放棄地再生活用への支援			
◎農地マネジメントに向けた農地等の基礎資料の整備	地籍調査の推進			

戦略4

地域資源を活用した農村地域の活性化を図ります。

主担当課：農林部 農村振興課

戦略目標

▶平成31年度までに、地域づくり協議会へ参加する集落数を25集落に増やします。(平成26年度：17集落)

取り組み

農産物等を活用した地域産業の振興

農村資源を活用したにぎわいの創出

農村資源の持続的な活用

農村資源情報の発信

総合的な鳥獣害被害防止対策の推進



ICT 捕獲装置研修会



農村周遊自転車ルート整備 (イメージ)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
農産物等を活用した地域産業の振興				
◎薬用作物の生産振興		薬草栽培に取り組む市町村への支援		
		省力・低コスト栽培技術の開発と普及		
◎柿葉生産ビジネスの推進		増産へ向けた支援		
農村資源を活用したにぎわいの創出				
◎農村資源を活用した地域づくり		協議会の設立、イベントの実施等地域づくり活動への支援		
◎農村周遊自転車ルートの整備	整備計画の策定	測量・調査・実施設計	整備工事	
◎NAFIC周辺の賑わいづくり	基本構想の策定	施設基本計画の策定	調査・設計・整備	
◎地域の食と農を活かしたぐるっとオーベルジュの整備とネットワーク化	意向調査・全体構想	基本計画の策定支援	整備推進ネットワーク化	
農村資源の持続的な活用				
◎農村資源を活用した再生可能エネルギー利活用		導入への支援		
◎ため池、水田を活用した貯留対策推進		実証実験・実施		
◎農業水利施設の長寿命化の推進		施設の計画的な維持修繕・更新対策の実施		
◎農業・農村の多面的機能の維持・発揮活動への支援	中山間地域等直接支払、多面的機能支払を活用した地域資源の保全活動への支援			
農村資源情報の発信				
◎ならグリーンツーリズムHPでの情報発信		イベント等掲載情報の更新		
◎冊子を活用した情報提供	ジャーナル発行	イベント等掲載情報の更新		
総合的な鳥獣害被害防止対策の推進		地域ぐるみの被害防止活動の実施、侵入防止柵の設置		
		ジビエ(食用野生獣肉)の利活用		

戦略5

農・畜産・水産業振興のための体制整備を図ります。

主担当課：農林部 企画管理室、農業水産振興課、畜産課

戦略目標

- ▶ 平成28年度までに、農・畜産・水産業の振興に関する条例を制定します。
- ▶ 平成30年度までに、研究者1人当たりの産地で活用された技術件数を0.5件／年に増やします。(平成25年度：0.38件／年)

取り組み

(仮称) 奈良県農・畜産・水産業の振興と農村の活性化に関する基本条例の制定

畜産・水産振興のための体制整備

農・畜産に関係する研究機関の整備

農業研究開発センターの研究機能の高度化(漢方・育種・加工・栽培)



新しい果実加工品の開発 (イチジクグラッセ)



薬草(トウキ)の省力化技術の開発

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
(仮称) 奈良県農・畜産・水産業の振興と農村の活性化に関する基本条例の制定				
◎条例の制定		検討 → ● 制定		
◎指針の策定			検討 → ● 策定	
畜産・水産振興のための体制整備				
◎畜産の体制整備		検討・整備の推進		
◎水産業支援体制の検討		支援体制の検討	水産業の活性化に向けた取り組みの推進	
農・畜産に関係する研究機関の整備				
◎農業研究開発センターの整備	整備	● 整備完了予定		
◎畜産に関する研究機関の整備	あり方検討	整備方針決定	整備に向けた取り組みの推進	
農業研究開発センターの研究機能の高度化(漢方・育種・加工・栽培)				
◎薬用作物の安定供給		優良品種の育成と省力安定生産技術の開発		
◎優良品種の育成		市場性の高い奈良オリジナル優良品種の開発		
◎加工食品の開発と加工技術の研究		新しい奈良県オリジナル加工品の開発		
◎革新的な生産技術の開発		省力化と高品質栽培技術の開発		

これまでの成果

奈良まほろば館やFOODEX JAPANにおける県産農産物の試食提供(2,300名)や、新宿高島屋でのプロモーション(来場者:6,700名)を通じて、首都圏での県産農産物・加工品の広報を展開しました。

★御所駅周辺において、県産農産物やその加工品を販売するGo-Sayラグビーマルシェを定期的に開催し、地域の消費拡大に取り組みました。(平成28年1月末時点合計来場者数:5,300人)

平成26年度に味間イモと黒滝白キュウリを大和野菜として追加認定し、大和野菜は25品目となりました。

★平成21年度から農家実践研修を実施した結果、平成27年3月までに21名が就農しました。(平成26年度:7名)

地域特産品の高付加価値化に取り組み、柿の紅葉の長期保存や安定生産技術を開発し、平成26年度は下市町や御所市などで32万枚が生産されました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

人口100万人当たり
農産物直売所数

30.3カ所

(平成17年度 全国45位)



164カ所

(平成25年度 全国34位)

地元産の新鮮農産物への需要の高まりから、着実に増加しています。

■変化が見られない指標、低下している指標

農業産出額

476億円

(平成18年度 全国45位)



402億円

(平成26年度 全国44位)

農業産出額は、全体では昭和59年をピークに減少傾向となっていますが、全国的にも低下していること、米価の下落により全国順位は上昇しました。